

1. 令和 3 年度定時社員総会報告

令和 3 年 4 月 23 日 (金) 開催の令和 3 年度定時社員総会 (京王プラザホテル 南館 5F エミネンスホール) において、標記の件が以下の通り承認されました。

(1) 令和 2 年度収益事業会計収支決算について

正味財産増減計算書 (収益事業分)

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科 目	収益事業合計
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	0
特定資産運用益	0
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	0
学術評議員受取会費	0
一般会員受取会費	0
終身会員受取会費	0
病理専門医部会費	0
海外会員年会費	0
事業収益	63,651,071
学術集会収益 (展示会セミナー収益)	60,134,500
広告料収益	0
輯報刊行物発行収益	0
専門医制度収益	0
病理専門医部会収益	0
講習会等収益	0
支部集会等収益	0
賠償保険事務収益	3,516,571
ゲノム講習会収益	0
受取委託収益	0
受取委託収益	0
受取補助金等	0
受取寄付金	0
受取寄付金	0
雑収益	7,156,728
受取利息	91
雑収益	0
PI ロイヤリティ	7,156,637
著作権使用料	0
編集協力費収益	0
日病会誌	0
転載料	0

経常収益計	70,807,799
(2) 経常費用	
事業費	66,392,775
給与手当	0
臨時雇賃金	0
福利厚生費	0
会議費	0
旅費交通費	0
通信運搬費	0
消耗什器備品費	0
消耗品費	100,540
修繕費	0
印刷製本費	8,140,000
光熱水料費	0
賃借料	0
諸謝金	0
租税公課	0
支払負担金	0
支払助成金	0
支払寄付金	0
委託費	0
雑費	0
支払手数料	268,690
学術集会会場費	2,983,361
学術集会設営費	10,348,297
学術集会人件費	1,787,597
学術集会業務委託費	2,534,557
学術集会広告費	363,498
学術集会印刷費	7,118,280
学術集会会議費	3,744,757
学術集会 WEB 開催費用	18,445,238
学術集会通信運搬費	1,965,989
学術集会諸費用	8,591,971
管理費	356,490
臨時雇賃金	0
福利厚生費	0
会議費	0
旅費交通費	0
通信運搬費	0
消耗品費	0
修繕費	0
印刷製本費	0
諸謝金	0
租税公課	356,490
支払負担金	0
支払助成金	0
委託費	0
雑費	0
減価償却費	0

支払手数料	0
経常費用計	66,749,265
評価損益等調整前当期経常増減額	4,058,534
法人税等	544,000
当期経常増減額	3,514,534

(2) 名誉会員の推戴について

同定時社員総会において、以下の4名が令和3年度新名誉会員に推戴されました（敬称略・ABC順）。

橋本 洋 井藤 久雄 中沼 安二 八木橋操六

(3) 功労会員の推戴について

同定時社員総会において、以下の33名が令和3年度新功労会員に推戴されました（敬称略・ABC順）。

青木 一郎 新井 栄一 筑後 孝章 樋口佳代子
樋口 京一 伊藤 隆明 笠原 正典 川本 雅司
窪澤 仁 楠美 嘉晃 三浦 克敏 三代川斉之
森木 利昭 村上 知之 長田 道夫 中島 透
小田 秀明 小田 恵夫 小川 晃 佐々木 惇
佐藤 隆夫 仙波伊知郎 島 寛人 清水 道生
鈴木 雅子 竹下 盛重 寺畑信太郎 戸田 修二
和田 了 湧谷 純 山根 徹 山根 哲実
安井 弥

(4) 学術評議員の承認について

同定時社員総会において、以下の40名が令和3年度新学術評議員として承認されました（敬称略・ABC順）。

阿部 達也 朝比奈未紀 福島 剛 藤井 慎介
林 玲匡 林 紀乃 平井 秀明 広田 由子
伊藤 栄作 伊藤 行信 金森 直美 神澤 真紀
川畑 茂 木脇 祐子 近藤 裕介 久保 輝文
紅林 泰 桑原 一彦 丸 喜明 松本 俊英
村上あゆみ 牟田 紘子 西田 陽登 帯包 妃代
小倉 豪 岡崎 泰昌 奥野 高裕 齊藤 涼子
櫻井 浩平 佐藤 啓 清水 重喜 高山 佳泰
竹内 康英 寺本 祐記 上野 彰久 宇留賀公紀
和田 裕子 柳内 充 安松 良子 行森 茜

(5) 第69回（令和5/2023年度）秋期特別総会会長について

同定時社員総会において、以下候補者が第69回（令和5年度）秋期特別総会会長として承認されました。

矢野 博久（久留米大学医学部 病理学講座）

(6) 第113回（令和6/2024年度）総会会長について

同定時社員総会において、以下候補者が第113回（令和6年度）総会会長として承認されました。

豊國 伸哉
（名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学）

(7) 分子病理専門医（口腔）制度関係規定の変更について

同定時社員総会において、標記の件が以下の通り承認されました。

専門医制度規程

【現行】	【改定案】
（認定期間及び資格の更新） 第3条 病理専門医及び分子病理専門医の認定期間は5年とし、5年毎にその資格を更新するものとする。	（認定期間及び資格の更新） 第3条 病理専門医及び分子病理専門医の認定期間は <u>原則</u> 5年とし、5年毎にその資格を更新するものとする。
附則 1. 本規程を変更する場合は理事会の審議を経て、総会の議決による。	第6条 附則—士 本規程を変更する場合は理事会の審議を経て、総会の議決による。

口腔専門医制度規程

【現行】	【改定案】
（本制度の目的） （新設）	（本制度の目的） 2 特に分子病理学に卓越した知識を有する口腔病理専門医を養成し、分子病理学の進歩発達とその診療水準の向上をはかり、ゲノム医療を実現することで国民の福祉に貢献することを目的として、分子病理専門医（口腔）を認定する。
（認定の方法） （新設）	（認定の方法） 2 分子病理専門医（口腔）の認定を受ける資格をもつ申請者については分子病理専門医制度運営委員会で承認し、口腔病理専門医制度運営委員会で認定を行う。分子病理専門医（口腔）と認定された者には認定証を与え、これを分子病理専門医（口腔）（Certified Molecular Pathologist (Oral) of The Japanese Society of Pathology）と呼称する。
（認定期間及び資格の更新） 第3条 口腔病理専門医の認定期間は5年とし、5年毎にその資格を更新するものとする。	（認定期間及び資格の更新） 第3条 口腔病理専門医および分子病理専門医（口腔）の認定期間は <u>原則</u> 5年とし、5年毎にその資格を更新するものとする。
附則 1. 本規程を変更する場合は理事会の審議を経て、総会の議決による。	第6条 附則—士 本規程を変更する場合は理事会の審議を経て、総会の議決による。

2. 分子病理専門医（口腔）について

分子病理専門医は病理専門医が認定の対象でしたが、令和3年度定時社員総会で標記の件について関係規定の変更が承認されたため、令和3年度の分子病理専門医試験より口腔病理専門医についても認定対象となります。口腔病理専門医の分子病理専門医試験合格者は「分子病理専門医（口腔）」として認定されます。

参照 HP:

<https://pathology.or.jp/senmoni/bunshibyouri.html>

3. 「国民のためのよりよい病理診断に向けた行動指針 2021」について

国民のよりよい医療に向け病理診断の一層の向上を保証するため、診療報酬制度の改革を主眼とした「国民のためのよりよい病理診断に向けた行動指針 2021」を策定致しました。詳細は下記よりご確認ください。

参照 HP:

<https://www.pathology.or.jp/jigyuu/guideline2021-210423.pdf>

4. 第 111 回日本病理学会総会（神戸）のホームページについて

標記総会のホームページを公開いたしました。詳細は下記よりご確認ください

参照 HP:

<https://site2.convention.co.jp/111jsp/>

5. 日本病理学会総会等における研究発表演題登録に際しての注意喚起について

昨年7月にオンラインで開催された第109回日本病理学会総会示説発表演題について、演者所属施設の研究倫理審査委員会による内部調査により、当該演題登録が研究倫理審査申請より前に行われたことが判明しました。演者および指導者からの報告を受け検討の結果、日本病理学会として「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省、平成26年12月22日、平成29年2月28日一部改正）が求める手続きに則らない重大な違反行為であるとみなし、理事長および倫理委員会委員長名にて演者および指導者に文書による注意を行いました。

日本病理学会会員各位におかれましてはこの様な違反行為が繰り返されないため、研究の実施ならびに成果発表においての研究倫理手続きの確認ならびに徹底をお願いします。また、学術集会主催者側においても係る手続きが行われたことが確認できますよう、今後開催予定の日本病理学会総会演題募集登録時に倫理審査の有無に関するチェック欄を加えて注意喚起を図ることを検討します。

令和3年5月21日
一般社団法人日本病理学会

6. 第 17 回日本病理学会カンファレンスについて

下記日程で第17回日本病理学会カンファレンスを開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

テーマ：「患者医療への道」を歩む診断・医療研究の最前線

世話人：近藤 英作（新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞病理学分野）

HP: <https://17th.jspc.academy> (*参加申し込み・演題応募)
会 期：令和3年8月20日（金）・21日（土）

開催形式：Web 配信（Zoom 形式によるリアルタイム配信（レクチャー）およびオンデマンド配信（ポスター発表））

受 付：WEB 開催のため、学会受付は、参加費の振込をもって代用します。

参加費：一般 6,000 円

学部生および修士課程学生 1,000 円

但し、35歳以下のポスター発表者（参加費は無料）は、2日間のフル参加を原則とします。

参加費はメールにて参加費振込口座をお知らせいたしますので、事前振込をお願いいたします。振込名義は、参加者氏名にてお願いいたします。

参加費の内訳書が必要な方は、別途、内訳内容を記載しました領収書をご用意しますので、事前にご連絡ください。

参加登録:

参加登録期間:

令和3年5月14日（金）～7月30日（金）正午

申込は下記より

<https://17th.jspc.academy/participant.html>

演題募集期間:

令和3年5月14日（金）～6月14日（月）正午

申込は下記より

<https://17th.jspc.academy/presenter.html>

※募集期間が異なりますのでご注意ください。

生涯学習単位について:

- ・日本専門医機構専門医資格更新単位（病理領域講習単位）4単位
- ・病理専門医受験資格（2015年4月1日以降の専門研修開始者は本カンファレンス参加あるいは、「分子病理診断講習会」（春総会にて開催）あるいは、「ゲノム病理標準化講習会」の受講が必須です。）

事務局連絡先:

第17回日本病理学会カンファレンス事務局

新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞病理学分野内

担当：齋藤、清水、井村

〒951-8510 新潟市中央区旭町通一番町 757

TEL: 025-227-2103 FAX: 025-227-0761
お問い合わせ: jspc2021@med.niigata-u.ac.jp

7. 【周知依頼】「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」について

厚生労働省医政局 研究開発振興課より、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」についての周知依頼がございました。以下よりご確認よろしくお願い致します。詳細は下記の URL を参照下さい。

参照 HP:

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>

お知らせ

1. 【周知依頼】「新型コロナワクチン接種医師確保事業」に係るお願いについて

医師のセカンドキャリアと地域医療を支えるネットワークより、「新型コロナワクチン接種医師確保事業」についての周知依頼がございました。ワクチン接種にご協力いただける医師の募集・登録と、新型コロナワクチン接種に係る医師が足りない自治体へ紹介する「新型コロナワクチン接種医師確保事業」事業の支援に関するものです。詳細は下記の URL を参照下さい。

参照 HP: <https://covid19-vaccine-md.jp/>

2. 【周知依頼】リソカブタゲン マラルユーセルの最適使用推進ガイドラインについて

厚生労働省医薬・生活衛生局医療機器審査管理課長より、「リソカブタゲン マラルユーセルの最適使用推進ガイドライン」についての周知依頼がございました。以下よりご確認よろしくお願い致します。詳細は下記の URL を参照下さい。

参照 HP:

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T210518I0100.pdf>

3. 医療科学研究所 2021 年度（第 31 回）研究助成について

標記の件につきまして、詳細は下記ホームページをご確認ください。

参照 HP: <https://www.iken.org/assist/about.html>

お問い合わせ:

公益財団法人 医療科学研究所事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-2-12 赤坂ノアビル 5F

TEL: 03-5563-1791 FAX: 03-5563-1795

E-mail: imukyoku@iken.org

4. 先端バイオイメージング支援プラットフォーム (ABiS) 令和 3 年度公募について

標記の件につきまして、詳細は下記ホームページをご確認ください。

参照 HP: <https://www.nibb.ac.jp/abis/>

申込方法: <http://www.nibb.ac.jp/abis/application>

お問い合わせ:

先端バイオイメージング支援プラットフォーム (ABiS) 事務局

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中 38

TEL: 0564-55-7804

e-mail: abis-office@nips.ac.jp

担当: 丸山めぐみ (生理学研究所)

真野 昌二 (基礎生物学研究所)



2021 年 IAP 日本支部 病理学教育セミナーのお知らせ

IAP 日本支部主催

すべてのプログラムを Web 配信（オンデマンド）形式で開催いたします。現地での開催は行いません。スライドセミナーは 3 コースまで受講できます(*)。尚、ハンドアウトはすべて、受講者が電子ファイル (pdf) をダウンロードする形式に変更します（事前の郵送物はありません）。

【視聴期間】 2021 年 11 月 16 日から 12 月 5 日（予定）

【参加申込期間】 2021 年 10 月 1 日から 11 月 15 日（予定）

【参加方法】 IAP 日本支部 ホームページからのオンライン登録、クレジットカード決済のみ。病理診断講習会、スライドセミナーともに、事前の申し込みと受講料の支払を完了している必要があります。これ以外の申込み・支払いは一切受け付けませんのでご注意ください。詳細は IAP 日本支部 ホームページ <https://www.iapjapan.org> で確認してください。

【概要】

1. 病理診断講習会

テーマ：「骨軟部腫瘍」

企画・コーディネーター：小田義直（九州大学大学院医学研究院形態機能病理学）

【緒言】「治療とリンクした骨軟部腫瘍の病理診断」 遠藤誠（九州大学病院整形外科）

【教育講演 1】「軟部腫瘍病理診断における新展開」 山元英崇（九州大学病院病理診断科・病理部）

【教育講演 2】「骨腫瘍及び小円形細胞肉腫の病理診断における新展開」

吉田朗彦（国立がん研究センター中央病院病理診断科）

2. スライドセミナー

New! 甲状腺腫瘍 近藤哲夫（山梨大学大学院総合研究部医学域人体病理学）

New! リンパ腫－節外性－ 田中健大（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学）

New! 胸膜、腹膜病変 鍋島一樹（福岡大学医学部病理学講座・病理部/病理診断科）

* 食道胃接合部・胃・十二指腸の病理 河内洋（がん研究会有明病院臨床病理センター病理部）

* 乳腺の病理 森谷鈴子（滋賀医科大学附属病院病理部）

* 肝の病理（非腫瘍および腫瘍） 原田憲一（金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理）

* 脾の病理（非腫瘍および腫瘍） 能登原憲司（倉敷中央病院病理診断科）

子宮腫瘍 三上芳喜（熊本大学病院病理診断科）

*は今年に続いて来年も行われる予定のコース、#印は今回で終了するコース。

【病理専門医資格更新単位】

診断講習会では教育講演 1, 2 が各 1 単位で合計 2 単位、スライドセミナーでは各コースが 2 単位で最大 4 単位までの取得が可能です（*スライドセミナーを 3 コース受講しても付与される資格更新単位は合計 4 単位です）。

【受講料】

	一般会員	ジュニア会員	シニア会員	非会員
病理診断講習会	5,000 円	3,000 円	無料	8,000 円
スライドセミナー (1 コース)	10,000 円	5,000 円	10,000 円	15,000 円

病理診断講習会はハンドアウト代、スライドセミナーはバーチャルスライド閲覧・ハンドアウト代が含まれています。

【会員料金の適応】： 1) 2021 年 9 月 1 日の時点で、2020 年までの会費を全額納入していること。

2) 2021 年新規入会会員については、2021 年 9 月 1 日までに入会手続きが完了していること。

【問い合わせ先】

教育セミナー：IAP 日本支部 教育委員長 清川貴子

（東京慈恵会医科大学病理学講座）E-mail: iap-japan@jikei.ac.jp（事務担当 桜井）

IAP 日本支部入会申し込み・年会費の納入について：

IAP 日本支部事務局（株）国際文献社内 平尾みゆき

E-mail: jdiap-post@bunken.co.jp TEL: 03-6824-9374

IAP 日本支部のホームページ <http://www.iapjapan.org> もご覧ください。

2021 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募

下記の要領にて 2021 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞を公募いたします。

記

賞の名称：IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

応募資格：日本の医療機関に勤務する若手（論文掲載時 40 歳未満）の病理医。

IAP 日本支部の会員か否かは問わないが、会員であることが望ましい。

選考対象：2020 年 1 月から 12 月の間に雑誌に公表された診断病理分野における優れた英文論文 1 編。筆頭著者を原則とする。E-pub は含まない。但し、留学先ではなく日本国内での研究のみ。

受賞者数：3 名以内

賞の内容：賞状と副賞（トロフィー）

応募方法

原則、他薦（自薦も可）とする。

申請時に必要なもの（すべて PDF ファイルとする）：

1. 応募者の履歴書（JIS 版）
2. 推薦書（推薦人がいる場合）または、応募理由書（推薦人がいない場合）
PDF ファイル 2 ページ以内とし、書式は問わない。
3. 論文（1 編のカラーPDF ファイルを提出）

1～3 を添付して下記のメールアドレスに送付する。

応募の締切：2021 年 8 月 31 日

宛 先：Email: pathol-1@tokyo-med.ac.jp

「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会委員長 長尾俊孝 宛

選考方法・発表

IAP 日本支部が指名する「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会（日本病理学会、日本臨床細胞学会からの外部委員も参加）において選考する。なお、受賞者の表彰は賞状と副賞（トロフィー）の発送をもってかえさせていただく。また、受賞者を IAP 日本支部の News Bulletin 紙上で公表する。

以上